

奈良言友会会報

まほろば



今井町並み散歩 茶行列

第21号

平成29年5月発行

「無口」について

堀 茂

私には長年、吃音がありました。会話場面で言うべき言葉がなかなか思い浮かばないという問題もずっとありました。これは吃音とは別の問題のような気がするのですが、「言わないといけない」と思うほど言葉が浮かんで来ないのです。どもってはいけないと思うと、かえってよくどもるのと似ています。

私は、勤めていたころ自他ともに認める無口でした。吃音があり、話すのが苦手で消極的になっていたと思います。

ある時、職場の上役から「しゃべらないのはよくない。気を使う」との由を言われました。私は、好き好んで無口なのではない、仕事上、必要なことは言っていると思っていたので反発を感じましたが、言われたことはずっと頭に残りました。そのうちに私は、上役の言うことはもっともだと思うようになり、面と向かっては言いにくいことを言ってくれた上役に感謝の念をもちました。そして「早く言わないと」と自分に圧力をかけると、却って言えなくなるから無口になるのだと、自分を正当化していたのではないかと反省させられました。私の無口によって、ひとが気を使ったり、困惑しているとしたら、それはなんとかしなければならぬと思いました。

そんなことを考えながら、気づいたことは、自分の中に、意味のないことは言うべきではないという思い込みがあり、それが口を重くしているのではないかということでした。

しかし実際の社会的な場面では、人は伝える意味ある言葉ばかりを言っているのではなく、意味のない言葉も多いことに気づきました。例えば、道で知った人と出会う、「やあ、どちらへ?」「ちょっとそこまで」「あそう、じゃあね」と言って別れる。この会話には実質的な意味の伝達はないわけですが、このような、いわば「どうでもよい」会話に、人と人をつなぐ大切な働きがあるわけです。つまり、交わす言葉そのものに意味はなくても、ことばを交わすことに意味のある場合があるということです。

意味のない言葉も大切なのだと気づいてから、話すことが楽になったように思います。「明日は晴れるかな」など天気のこと、道端に野草の小さな花を見つけ、「かわいいね、この花」など、何でもいいわけです。

その他、心がけたことは、相手が話しかけてくるのを待つのでなく、自分から話しかけることです。自分から話しかけるには、相手に関心をもつのがよい。相手が、腰の調子が悪いと言っていたのを思いだして「腰の具合はどうですか?」と聞く、相手が女性なら「そのブローチきれいですね」など。それから、笑顔で人と向き合うこと、率先して挨拶することなども心がけました。

心がけたことが、言うほど実行できたわけではありませんが、ある程度私の無口は改善されたのではないかと思います。笑顔を心がけることによって、私の仏頂面も大分柔らかくなったのではないかなと思っています。

奈良言友会定期総会を開催

平成 29 年3月4日(土) 午後3時より、奈良市ボランティアインフォメーションにおいて、奈良言友会の総会が開催されました。平成28年度の活動報告及び決算報告がなされ承認された後、平成29年度の活動計画が審議されました。主な承認事項は次の通りです。

1. 奈良言友会会則の中の用語を以下のように変更及び新設する。
 - ・「世話人」を「幹事」に、「正会員」を「会員」に変更
 - ・参加費を納めて例会に参加する人を「会友」として新設
 - ・会則の改正は平成29年4月1日付とする。
2. 役員について
 - ① 会長、幹事は留任し、新たに田中知樹さんを幹事に選任した。
 - ② 29年度は次の体制で行う。
会 長 (会計兼務) 堀 茂
幹 事 青木明大、天羽隼子、市田浩志、後藤文造、田中知樹、山崎貴浩
3. 平成29年度 活動計画
 - (1) 例会：平成28年度は土曜午後と日曜午前に行ってきたが、平成29年度は原則として毎月第1日曜日の午後1時半から4時半に戻すことにする。
 - (2) 行事
 - ① 第6回ことばの親子交流会を、7月下旬又は8月上旬に実施する(その後、7月23日に実施することとなった。)会場は曾爾高原の「国立青少年自然の家」を使用する。
 - ③ 秋にセミナーを実施する。内容など詳細は今後、検討していく。
4. 会員や会友相互の連絡、交流を密にするよう、それぞれの同意のもとにメーリングリストを設定する。

例会報告

平成29年1月14日(土) テレビドラマの登場人物になってお芝居をしてみよう

参加6名 担当・報告 市田 浩志

今回の例会では、私が心を動かされたドラマのシーンを用いて、全員参加できるように役の振り分けを行いました。参加者に男女共いた為、うまく進めることができました。

お題材は全てNHKの「真田丸」「とと姉ちゃん」「べっぴんさん」を使い、比較的知名度が高そうなものを選びました。私自身ドラマを良く観ているので、今後も同じような内容での例会を行えればと思います。

真田丸第四十九話 「前夜」

大阪夏の陣 緒戦で八尾方面の徳川軍の進軍を止めるために戦いに出る前夜

木村重成と後藤又兵衛の会話

木村：後藤様、いよいよですね

後藤：思いつきの暴走じゃね

木村：後藤様には色々と言わせていただきました。

後藤：何だ、それ。

木村：お会いできて光栄でした。

後藤：二度と会うつもりじゃないよ。

木村：すいません

後藤：うちの前の川を渡るといふよりも、必ず

どっかが死ぬというのが決めりなんだ。

おっ、お前いい匂いするなよ。

木村：万一、首を切られたときに馳すかしてない

様に、タバから兜に香をたきこめておりま

した。

後藤：ははは、つまらねえ真似すんじゃないぞ。

早く持ち場に戻れ。

吃音で悩んだ少年期の体験

上川 二三雄

上川二三雄と申します。昭和19年生まれの72歳です。

和歌山から参加させていただいています。以前毎日新聞で「吃音で苦しんでいる方がいる。そのことを理由にいじめに逢っている方もいる。」という記事を読みまして、本人はもとより、親御さんの、ご心痛がいかばかりかと思ったりいたしました。私も、若い時、吃音で悩んだ経験がありますので、記事に出ている言友会の事を知りたくて、参加させていただきました。

私の吃音履歴を申します。

小学校後半から、高校卒業まで吃音に悩まされました。しかし、幸いなことに、所謂「いじめ」に合った経験がありません。世相が良かったことと、みんながかばい合うと言う雰囲気があったからではないでしょうか。小学校2年生のとき、劇を演じていることから吃音が出ていなかったと思います。小学校5年生のとき、吃音が少し始めました。今思うと、非常に厳格な・きっちりした担任の先生に、7を「しち」と言わずに「なな」と言いなさいと注意されたことを覚えています。小学校6年生に、熱心な根田ハナ子先生に、電気治療に連れて行ってもらった記憶があります。また、加持祈禱にも行ったことがあります。学校へ行く前、紀の川を渡った神社で、祈禱していただいて、「何とか直してください」とお願ひし、冬の日など、雪の紀ノ川を複雑な気持ちで、眺めていた記憶があります。根田先生は「上川君 ローマ字を書くのが早いね。」と励ましてくれますが、今、思うと私に自信を持たせるために励ましてくれたのかなと思います。

中学校時代には、担任の先生のすすめもあって、ろう学校での夏季講習会に参加して、発声練習をしましたが、あまり効果がなかったように思いました。高校時代には、相変わらずの吃音があり、駅でのキップを買うとき、輪読の恐怖等がありましたが、同級生は、学力検査の方により関心があり、自分の中では悩みましたが、我が吃音は問題視されませんでした。

大学時代には、生活環境が大きく代わり、高校時代と違ってのびのびとした学生生活を送ることが出来、そのせいか吃音は、ほとんどなくなり、周囲の人たちも吃音であったことに気がつかない状態になりました。

社会人になり、仕事上、国との折衝等を積極的に行うようになり、プレゼンテーションは得意になりました。結婚式の司会を行ったり、吃音を忘れさせるまでに改善されました。

2017年例会の予定

6月4日(日) 午後1時半から4時半まで

昨年11月にNHK、Eテレの「バリバラ」に出演した八木智大さんをお招きして、例会をもちます。

テレビでは、吃音をもって積極的に活動する八木さんの姿が紹介されましたが、例会では以下のように行います。

<前半>八木さんが取り組んでいる「からだことばのレッスン」の実習

注：床に敷くバスタオル持参のうえ、動きやすい服装で参加してください。

<後半>テレビ収録の話や八木さんが取り組んでいるその他の活動についてお話していただきます。

奈良言友会の例会

奈良言友会HP <http://nara-genyukai.jimdo.com/>

日時：毎月第1日曜日 13:30~16:30

場所：奈良市はぐくみセンター（JR奈良駅西口 南へ歩3分）

奈良言友会連絡先	堀 茂 (ほり しげる。わいと年配です。) 〒636-0915 生駒郡平群町春日丘2-13-15 TEL/Fax0745-45-2857 090-9610-6393 sigeru1030@yahoo.co.jp
	青木 明大 (あおき あきひろ。わいと若いです。) akihiro.aoki.16@facebook.com URL: https://www.facebook.com/akihiro.aoki.16

